

要望書

近鉄四日市駅・JR四日市駅周辺整備事業について



令和6年7月

四日市市

平素は、四日市市の政策にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、リニア中央新幹線の東京-名古屋間開通による「リニア時代」の幕開けに向け、中心市街地再開発プロジェクトを進めています。

国土交通省の強力なご支援のもと、昨年5月には『「ニワミチよっかいち」中央通り再編基本計画』を策定し、近鉄四日市駅における駅前広場の再編やペDESTリアンデッキの設置等による駅まち空間の再構築、近鉄四日市駅周辺からJR四日市駅に至る中央通り約1.6km区間の歩行者中心の街路空間への転換や都市公園の再編による居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの実現などの取り組みを鋭意進めているところです。

本年3月には一部工区が完成し、沿道の事業者からは歩行者利便増進道路制度(ほこみち)の活用を期待する声もあがっています。

また、同区間ではローカル5Gネットワークの構築や環境センサー、AIカメラなどのスマートインフラが整備

され公衆WiFiサービスも開始するなど、中央通り1.6km区間を通してのスマートシティ実現に向けて関係者の機運も一段と高まっています。

さらに、昨年度からは、本市の新たなシンボルとなる円形デッキの工事に着手し、その姿を現すところまで工事が進んでまいりました。また、中央通り周辺の都市公園の再編工事も本格化してまいりました。



スマートポールと完成した工区の様子



円形デッキ仮組み



都市公園の将来イメージ(鶴の森公園)

この中央通りの再編に呼応して、沿道を中心にホテルやオフィス、マンションの建設といった大型の民間投資も相次ぐなど、まちなか再生に向けた機運が大きく高まっております。

つきましては、次の事項を強く要望します。

リニア時代の到来やまちづくりGX・DXなど人々のニーズが変化・多様化する中でも、市民や来街者の期待に応えられるよう、駅まち空間の再構築や居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの実現を官民一体となって推し進めていくために、引き続き、次の予算の配分について特段のご配慮をお願いします。

- 都市・地域交通戦略推進事業(防災・安全交付金、個別補助)
- まちなかウォーカブル推進事業(社会資本整備総合交付金)
- スマートシティ実装化支援事業

令和 6年 7月

四日市市長 森 智広



オフィスの建設イメージ(2025完成予定)



ホテル・オフィスの立地(ウォーカブル推進税制活用)



Park-PFI制度活用予定区域の将来イメージ(JR四日市駅～西側を望む)